

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	D 建設・整備事業	
事務事業名	都市再開発等推進事業				事業番号	017-060	
担当部署名	建築都市局	局	都市整備部	部	拠点整備課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(4)成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出		
			有	取組の方向性	③都市拠点にふさわしい駅前空間の創出と交通利便性の向上				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	イノベーション創出につながる事業数				
			有	現状値	74件(5年(2015～19年度)の累計)		目標値	100件(2021～25年度の累計)	
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール①住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.3	
			有	取組	堺市都市計画マスタープランに基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	

2	関連計画	堺グランドデザイン2040、堺市都市計画マスタープラン、堺市立地適正化計画、中百舌鳥駅周辺活性化基本方針、中百舌鳥駅前北側広場再整備基本計画、津久野駅周辺再整備基本構想		
3	事業開始年度	令和 元 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	都市計画法、都市再開発法		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、民間企業、地域団体、その他（NAKAMOZUIノベーションコア創出コンソーシアム）						
6	事業の対象	民間企業、地権者、駅周辺住民・駅利用者					対象数	単位
							—	—
7	事業の目的	上位計画で位置づけられた都市拠点や駅前拠点を実現するため、民間活力を生かした駅周辺の都市機能の更新等により、利便性や快適性の向上と、地域の活性化をめざす。中百舌鳥エリアでは、大学や産業支援機関、スタートアップ企業等が集積し、ビジネス・学術での交流機会が創出され、産学官連携等による新たな技術やビジネスが生まれるイノベーション創出拠点の形成をめざす。						
8	事業内容	・上位計画に位置づけられた中百舌鳥イノベーション創出拠点を實現するため、中百舌鳥駅前北側広場の再編や産業支援機関等が集積している北部エリアの有効活用等の取組を進める。 ・中百舌鳥エリアをイノベーション創出のリーディングエリアとして発展させるため、産学官からなるNAKAMOZUIノベーションコア創出コンソーシアムの運営を支援する。 ・津久野駅周辺の都市機能の更新を図るため、駅周辺の一体的な再整備の検討、機運醸成や合意形成などの地元主体の活動を支援する。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—						
9	主な支出先	コンサルタント、コンソーシアム						
10	公民連携・協働事業	・産学官によるコンソーシアムの設立 ・地域団体との連携						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	拠点形成に資する施設の整備数	件	目標値	—	—	1	2
			実績値	1	1		
達成率			—	—			
当該指標を選定した理由		駅周辺の都市機能の更新に向け、施設整備を行うことで本事業の目的達成につながるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		駅周辺における施設整備数を計上					

12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	地域及び関係者団体の協議会等の開催回数	回	目標値	—	—	11	
			実績値	11	11		
達成率			—	—			
当該指標を選定した理由		駅周辺の都市機能更新を図るためには、関係者の意向のバランスをとり、協議・調整を重ねて事業を推進する必要があるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		本事業に係る地域及び関係者団体の協議会等の開催回数を計上					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	都市再開発等推進事業	事業番号	017-060
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	10,429	101,886	133,834	39,732	37,564
	財 源					
	国支出金	4,000	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
14	人件費（b）	61,560	61,560	58,380	58,800	61,335
	一般財源	6,429	101,886	133,834	39,732	37,564
15	年間経費（c）=(a)+(b)	71,989	163,446	192,214	98,532	98,899

事業費の内訳

（単位：千円）

16	事業費内訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		拠点周辺における都市機能更新に関する調査検討支援業務等	R7	決算	34,025	34,025		R7	決算		
			R8	予算	30,282	30,282		R8	予算		
		事業者選定委員会等報酬	R7	決算	20	20		R7	決算		
			R8	予算	82	82		R8	予算		
		負担金、補助金等	R7	決算	5,687	5,687		R7	決算		
			R8	予算	7,200	7,200		R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
R8	予算				R8	予算					

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	①	地域及び関係者団体の協議会等の開催回数	回	11
	②	上記①にかかる年間経費	千円	18,128
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	1,648,000
	④	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	1,925,091

算出についての説明等 NAKAMOZUIノベーションコア創出コンソーシアム（総会2回、協議会2回）、津久野駅前プロジェクト協議会（総会1回、役員会6回）、コンソーシアム関連負担金額、津久野関連補助金額、及び関連する人件費で年間経費を算出

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	中百舌鳥駅前広場の再編に向け予定していた事業者公募については、民間事業者との協議調整の過程で、工事費高騰などの社会情勢の変化を踏まえ、公募条件を再整理することとし、交通量調査や北部エリアにおける下水の整理など、必要な基礎的調査・検討に関する委託発注を行った。 津久野駅周辺の都市機能更新に向け関係者との協議調整や調査・検討を実施し、拠点形成に資する施設整備の方向性や課題整理を進めることができた。 地域及び関係者団体との協議会等は目標どおり開催することができた。NAKAMOZUIノベーションコア創出コンソーシアムにおいて大阪公立大学と連携し、中百舌鳥の課題解決につながるシンポジウムを企画・実施することができた。また、津久野駅前プロジェクト協議会に対する活動支援を通じて、関係者の機運醸成に寄与した。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	中百舌鳥駅周辺地域においては、中百舌鳥駅周辺活性化基本方針や中百舌鳥駅北側広場再整備基本計画に示した方針に沿って拠点施設の整備に係る事業者公募に向けた検討や北部エリアの低未利用地の活用に向けたコンソーシアムによる検討を行うなど、事業化に向けた取組を推進した。 また、津久野駅周辺地域においては、「津久野駅周辺再整備基本構想」の策定、プロジェクト協議会への補助や支援などにより、関係機関等と協議調整や方向性の共有が進み、津久野駅周辺の課題を解決するため一体的な再整備等の取組を推進した。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性 ■ 高い □ 低い 有効性 ■ 高い □ 低い	本事業は、上位計画で位置づけられた都市拠点・駅前拠点の実現に向けた事業であり、中百舌鳥駅周辺地域においては、コンソーシアム運営による産学官の連携や「中百舌鳥駅周辺活性化基本方針」及び「中百舌鳥駅北側広場再整備基本計画」の策定、駅前広場の再編の検討等、駅周辺の活性化に向けた取組を進めてきた。また、津久野駅周辺地域においては、地元主体の活動の支援による機運醸成や合意形成の推進、「津久野駅周辺再整備基本構想」の策定等、駅周辺の一体整備に向けた取組を進めてきた。 引き続き、都市拠点・駅前拠点の実現に向けて、地域や関係者と将来像を共有しながら事業推進のための取組を継続して実施する必要がある。
----	--	---